



工場内の設備

- 本社所在地：大阪府和泉市
- 事業概要：塗料加工業
- 常時使用する従業員：50人
(2026年1月時点)
- 現在の売上高：22億円
(2025年3月期)
- 法人番号：2120101042027
- Web：Webサイトなし

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
谷上 智純

塗料業界の受託業として業界ナンバーワンになる。

お客様へ高品質な塗料を安定してお届けすることで培ってきた技術力と製造ノウハウを活かし、環境にやさしい水系塗料の普及を通じて、より持続可能で豊かな社会の実現に貢献します。和歌山に新設する工場を拠点に、従来の溶剤塗料から水系塗料へのシフトを加速させ、市場の変化や環境課題に応える新しい製造モデルへ挑戦します。社員一人ひとりが、やりがいと成長を実感できる組織を築き、全ての取引先様と楽しく協働しながら、多様なお客様のニーズに応えられる企業を目指します。さらに、取引先企業との強固な連携により事業領域を拡大し、早期に目標を達成することで、従業員への還元と地域経済への貢献を果たしてまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2033年に売上高100億円を達成し、その後の売上高102億円を目指します。
和歌山新工場は2028年稼働予定であり、生産能力を大幅に増強して量産体制を確立する。リチウムイオン電池向け防食塗料などの高機能製品の製造を拡大し、高精度な分散・調色技術で競合と差別化し拡販する。また水系塗料比率を高め、VOC削減やロット大型化で廃棄物を減らし、環境負荷低減と高付加価値化を図る。

課題

- 和歌山県新工場稼働に伴う、地元人材の確保と育成体制の強化
- 溶剤系塗料：大口受注を小ロット対応ラインで生産していることによる製造効率低下と作業負荷集中への対応
- 水系塗料：仮設的な製造エリアでの量産による設備制約の解消と安定的な生産体制の構築

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 生産基盤の拡張と効率化：和歌山第一工場の新設および第二工場の段階的建設、大口ロット化・工程自動化・動線最適化による製造効率向上。
- 高付加価値化と市場多角化：水系塗料への参入と機能性塗料の開発による収益性向上と新市場開拓。
- 受注拡大と立地優位性の活用：既存顧客の増産取り込み、立地による輸送コスト削減を活かした受注拡大戦略。
- 人的基盤の強化：和歌山での現地採用・育成、中堅研修、女性活躍推進による持続的な運営体制の構築。

実施体制

- 初期人員・現地連携の構築：初年度は大阪から人員を出向させOJTで現地人材を育成し、地域の雇用支援機関と連携体制を構築。
- 工場建設による業務効率化と可視化：新工場の設計・導線最適化で作業効率を高め、進捗・工程の可視化を実現。
- 受注拡大戦略：既存取引先の増産取り込みを優先し、紹介経路を活用した新規取引先の開拓を推進。
- ガバナンスと実行責任の明確化：事業責任者・製造責任者・工場長・管理責任者らが役割分担しPDCAで施策を管理・改善。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです